

出資型新事業創出支援プログラム (SUCCESS) における Telexistence 株式会社への出資実行について

JST (理事長 濱口 道成) は、出資型新事業創出支援プログラム (SUCCESS) において、Telexistence 株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役 富岡 仁/Charith Fernando、以下「TX Inc.」という) への出資を実行しました。

TX は、JST の戦略的創造研究推進事業・CREST^{注1)} (研究領域「高度メディア社会の生活情報技術」、研究課題「レイグジスタンス^{注2)}を用いる相互コミュニケーションシステム」(平成12年～17年)、研究領域「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」、研究課題「さわれる人間調和型情報環境の構築と活用」(平成21年～26年) および戦略的創造研究推進事業・ACCEL^{注3)} (研究開発課題「触原色に立脚した身体性メディア技術の基盤構築と応用展開」(平成26年～平成31年)) (いずれも研究代表者 舘 暲 (現東京大学名誉教授)) を通じて開発されたレイグジスタンス技術の実用化を目指し、平成29年1月23日に設立されたベンチャー企業です。

レイグジスタンス (Telexistence/遠隔存在) とは、舘名誉教授が世界で初めて提唱した「人間が、自分自身が現存する場所とは異なった場所に実質的に存在し、その場所で自在に行動する」という存在拡張の概念であり、また、それを可能とするための技術体系を指します。

TX Inc. は、舘名誉教授の長年の研究開発成果を基に、レイグジスタンスロボット、インターネットを介したロボティクスにおける遠隔制御技術、視聴覚から触覚までの情報を伝送・蓄積・解析する通信モジュール・クラウドシステムの開発を行い、身体機能の遠隔地への伝送を実用化することで、個人、企業、社会の生産性を飛躍的に向上させることを目指します。

SUCCESS では今後も、JST の研究開発成果を実用化しようとするイノベーター的なベンチャー企業に対して、成長資金の供給や関係機関のネットワークを活用したサポートを提供することにより、実用化を通じた先端技術の社会への還元を進めていきます。

〈SUCCESS 事業概要〉

平成26年4月より、JST では「出資型新事業創出支援プログラム」(略称：SUCCESS Support Program of Capital Contribution to Early-Stage Companies) を開始しました。本事業は、JST の研究開発成果の実用化を目指すベンチャー企業に対し JST が出資並びに人的及び技術的援助を行うことでその創出及び成長を促進し、当該ベンチャー企業が行う事業活動を通じて JST の研究開発成果の実用化・社会還元を促進することを目的とした事業です。出資を通じて JST がベンチャー企業の株主になることで、民間の資金を誘引する「呼び水効果」を狙っています。

ホームページURL : <http://www.jst.go.jp/entre/>

<企業概要>

企業名	Telexistence 株式会社
設立日	平成 29 年 1 月 23 日
本社所在地	東京都港区
代表取締役	富岡 仁、Charith Fernando
事業内容	レイグジスタンス技術を活用したロボティクスとクラウド・データサービスの開発・販売
URL	https://tx-inc.com

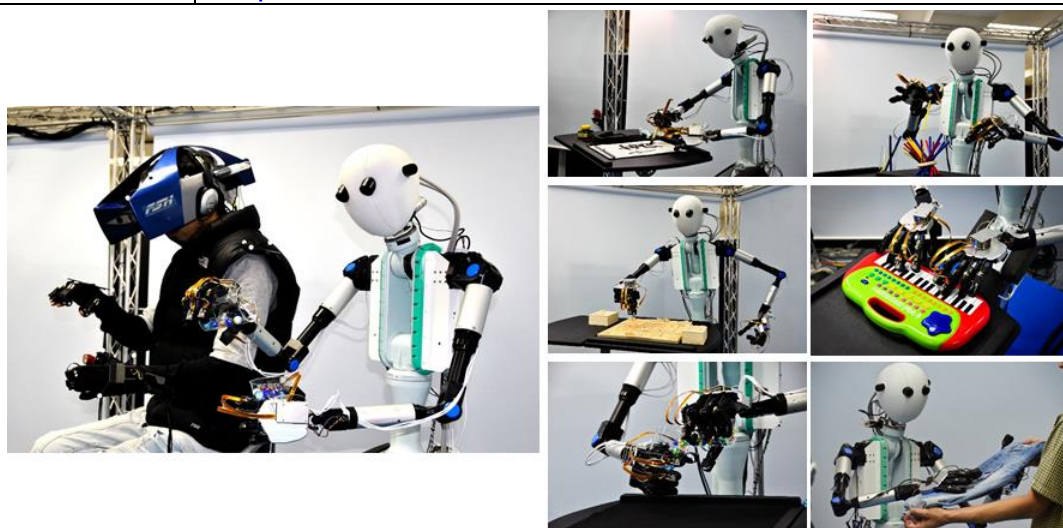


写真 館名誉教授の開発したレイグジスタンスロボット「TELESAR V (テレサファイブ)」

<用語解説>

注 1) 戦略的創造研究推進事業・CREST

国が定める戦略目標に向けて、課題達成型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究を行う J S T 事業。

注 2) レイグジスタンス

レイグジスタンスとは、遠隔のロボットを自分の分身として利用し人間を時空の制約から開放しようとする技術。1984年に世界で初めて、東京大学名誉教授の館暲博士によって提唱された。実際には、遠隔に置かれたロボットのセンサ情報をオペレータが受けながら、このロボットを制御することにより、遠隔におけるタスクを実行するマスター・スレーブ型のロボットシステムの形式をとる。人間型ロボットメカニズム、制御、視覚、聴覚、触覚のセンシング、人間の運動計測、人間への視覚、聴覚、触覚提示、データ伝送など、ロボット工学、バーチャルリアリティ、通信、ヒューマンインタフェース、認知心理学など多岐にわたる知識、技術、ノウハウが基となっている。

注 3) 戦略的創造研究推進事業・ACCEL

世界をリードする顕著な研究成果のうち有望なもの、企業などではリスクの判断が困難な成果を抽出し、プログラママネージャーによるイノベーション指向の研究開発マネジメントにより、企業やベンチャー、他事業等に研究開発の流れをつなげる J S T 事業。

<お問い合わせ先>

・ **Telexistence 株式会社**に関すること

Telexistence 株式会社

担 当 : 富岡 仁

E-mail : info@tx-inc.com

U R L : <https://tx-inc.com>

・ **SUCCESS 事業**に関すること

科学技術振興機構 起業支援室

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

Tel : 03-6380-9014 Fax : 03-5214-0017

E-mail : entre@jst.go.jp